

にじます音頭を披露

高校会議所が宮町まつりで



さらなる普及を目指して熱演(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、大社通り宮町商店街で開かれた「第16回宮町まつり」のステージで、にじます音頭を披露した。同会議所では、日本

一の養殖量を誇り市の魚となつているニジマスを活用したにぎわい創出と地域活性化に取り組んでおり、これまでに茶漬けや振り掛け、せんべい、ハンバー

ガー、チップス、薫製、朝霧高原の牛ふんとミックスした堆肥「マスマス元肥(げんぴ)」など幅広い商品を開発してきた。

にじます音頭は、妹尾良華さん(青木平音楽教室室長)に依頼して制作し、昨年と今年との「にじます祭」で発表した。

宮町まつりでは、一般市民へのさらなる普及を目指しての出演。活動紹介やマスマス元肥などの商品紹介も盛り込んだ。「観客からは手拍子と大きな拍手をいただき、感謝している。今後とも日本一のニジマスの普及に努める」と報告した。